

新規トンネル資材の効果確認試験

JAふらの

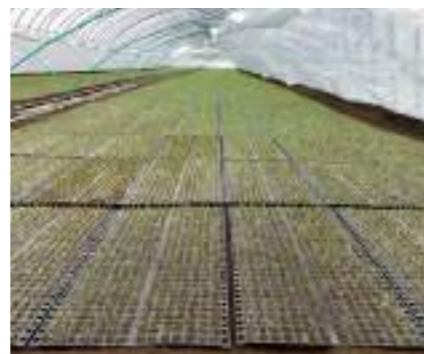
石田 広明



3.11撮影 ハウス全体



3.11撮影 慣行区



3.11撮影 試験区

試験目的

農POトンネルの効果確認試験

試験作物
及び品種

玉ねぎ

試験資材
及び数量(規格)

クリンテートトンネル(0.05mm×460cm×100m) 1本

慣行資材

農ポリ(0.07mm×460cm×100m)

栽培方法

播種日

2月24日

定植日

4月27日

資材使用期間

慣行区:2月24日~4月10日
試験区:2月24日~4月10日

3.26撮影 ハウス全体



3.26撮影 慣行区



3.26撮影 試験区

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

他社のPOに比べ、初回に開くときの静電気が気にならない程度だった。

また、慣行品に比べて厚みが薄い分軽いため、展張時の作業性が良いことと、流滴性があるため、開閉時の作業性も良かった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験品は保温性が高いため、2日ほど苗の生育が早かった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：農ポリはトンネル内側に水滴が多く付着し、苗に落ちるリスクがあるが、試験品は流滴性が高いため、労力軽減につながる。また、保温性が高いため、生育が早いことや、ふち苗の揃いが良い傾向にある。

【問題点】：農ポリに比べてやや価格が高い。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

材質面において、農ポリよりも強度が高いため、使用年数の長期化が期待できる。

モニター感想

2/24に播種・トンネル展張を行ったが、開くときの静電気は気にならなかった。

3/10シルバーを剥がした時点では、試験区の方が2日程度苗の生育が早かった。

苗が大きい方が、定植時の精度が上がるため良い。

流滴性があるため、開閉作業性が非常に良く、苗に水滴が落ちにくい。農ポリは開閉時にポタポタ落ちる。

また、例年ハウスの東側が風の影響により生育が悪くなるが、今回の試験で慣行区が西側、試験区が東側となっていたにもかかわらず、問題なかった。

今後販売されたら、試験品に切り替えたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 農家のフィルム

2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 トンネル資材

6 防虫ネット

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他